



コッコとこどん

大仙市立太田中学校
令和4年4月11日
NO. 7



うららかに たくましく ~ 耕し 萌えたち みのらせ さきみだる~

地域の一員として ~ 地区生徒会 ~

今年度から、本校は大仙市教育委員会の指定を受けて、学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組み、共に子どもたちを育てる「コミュニティ・スクール(CS)」(コミュニティ・スクールについては、別号で詳しくお伝えします)としての歩みを始めました。

「地域とともにある学校づくり」を一層推進するため、これまで以上に保護者の皆様や地域の皆様、学区内の小学校、認定こども園、高校との連携・協働を強固なものにしながら、これからの時代、太田の未来を担う子どもたちに必要な資質・能力を育まなければなりません。そのため学校では、地域の方々に行事や生徒の活動にご協力いただきながら、これまで以上に全教科で日常の授業に専門的な知識や技術などの力をお借りし、子どもたちの力を高めたいと考えています。

しかし、学校からお願いするだけでは「共に子どもたちを育てる」ことにはなりません。学校が、子どもたちが地域に飛び出して、地域に貢献・寄与する活動や地域の要請に可能な限りお応えする活動をより多く行うことで、学校と地域がWin-Winの関係となれるように努めたいと思っています。

昨年の学校評議員会で、「地域での子どもたちの様子や挨拶はいかがでしょうか?」と伺ったところ、「子どもたちを見かける機会がほとんどなく…」という返答がありました。冬ということもありますが、それが現実なのでしょう。子どもたちを地域の活動に参加させたい、地域の方に子どもたちの育ちの姿を見ていただきたいとつくづく思いました。

4月8日(金)に第1回目を行った地区生徒会は、住んでいる地域ごとに、役割分担をして助け合ったり、大切なことを連絡し合ったりする組織です。加えて、子どもたちの存在を地域で感じていただく組織になればとも思っています。その一つの機会として、学校で行っているポ



ランティア活動へのご協力のお願いの用紙の配布と回収のための訪問に、子どもたちが直接うかがわせていただきます。また、地域の活動にも可能な限りの参加を奨励し、促進していきます。子どもたちの姿を見ていただき、言葉を交わしていただき、子どもたちの成長の姿を感じていただければ幸いです。



どれだけ成長したかな?

4月8日(金)に全校で身体測定を行いました。昨年の今頃の自分と比べて、間違いなく成長していると思いますが…。「え、〇〇さんにこされた」「そんなはずなのに」「やばい…」「視力悪くなった」などの声も…。



新型コロナウイルス感染症との戦いの最中、その不便さ、苦しさの中で身体の変化はもちろんですが、それ以上に心が大きく成長しているものと思っています。でも、心は直接測定できませんので、これからの学校生活を通して感じていきたいと思っています。



おめでとう ~ 太中生の活躍 ~

- 第37回秋田県グラウンドチャンピオン代替大会 (R4 4/2~3)
- 回転競技中学校1年女子の部
 - 4位 高橋 凜 5位 加藤つくし
 - 大回転競技中学校1年女子の部
 - 5位 高橋 凜 6位 加藤つくし